

チャレンジ市役所「新発想」研究塾

2016

政策提言報告書



郡山市政策開発部政策開発課



# 目 次

◆ チャレンジ市役所「新発想」研究塾 2016 報告 .....	1
• Aグループ .....	1
• Bグループ .....	18
◆ 活動の経過 .....	36
◆ 研究塾生の感想 .....	40
◆ 資料 .....	42
• チャレンジ市役所「新発想」研究塾設置要綱	
• チャレンジ市役所「新発想」研究塾 2016 実施要領	
• チャレンジ市役所「新発想」研究塾 2016 研究塾生名簿	

チャレンジ市役所「新発想」研究塾2016

## Aグループ

LEGARE (レガーレ)

～高齢者が創る郡山の新しいカタチ～

# 提 案 概 要

## 背景・現状

少子高齢化の進展  
【“働き手”の減少、高齢者の増加】

↓  
地域活力低下、都市機能の衰退が懸念

『高齢者』と困っている『何か』を

**LEGARE**  
「結ぶ・繋ぐ」

することで、人口減少に伴って  
生じる課題の解決を図る

## 提案事業

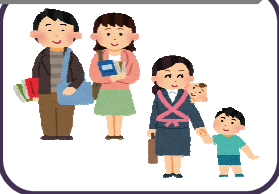
ライフスタイルに合わせて働ける  
「生きがい就労」

介護予防のための  
「ボランティアポイント」

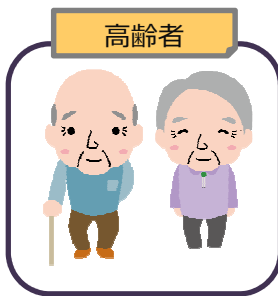


人手不足の企業

学生、シングルマザー



空き部屋を活用した  
「ホームシェア」



介護施設等



市役所等

セカンドライフ情報の一元化  
「いきいきシニア応援窓口」

「市民総活躍のまち こおりやま」の実現  
「幸」 齢者があふれるこおりやまへ

# LEGARE (レガーレ)

～高齢者が創る郡山の新しいカタチ～

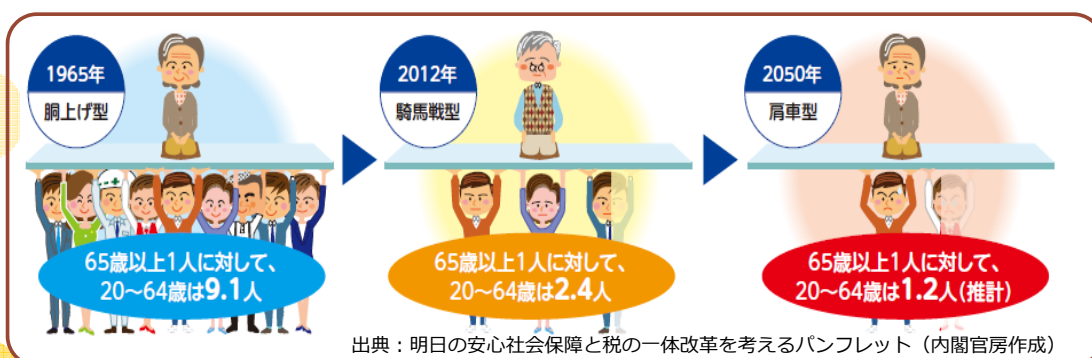
チャレンジ市役所「新発想」研究塾2016 Aグループ

職員厚生課	主査	鈴木	俊幸 (班長)
こども支援課	主事	横田	千明 (副班長)
ソーシャルメディア推進課	主事	岡田	真由美
健康長寿課	主事	佐藤	有莉
下水道建設課	技師	櫻村	圭亮

## 提案の背景・現状

現在の日本が直面している状況

→急速な**少子・高齢化**の進展



社会保障費  
・医療費増

認知症  
高齢者増

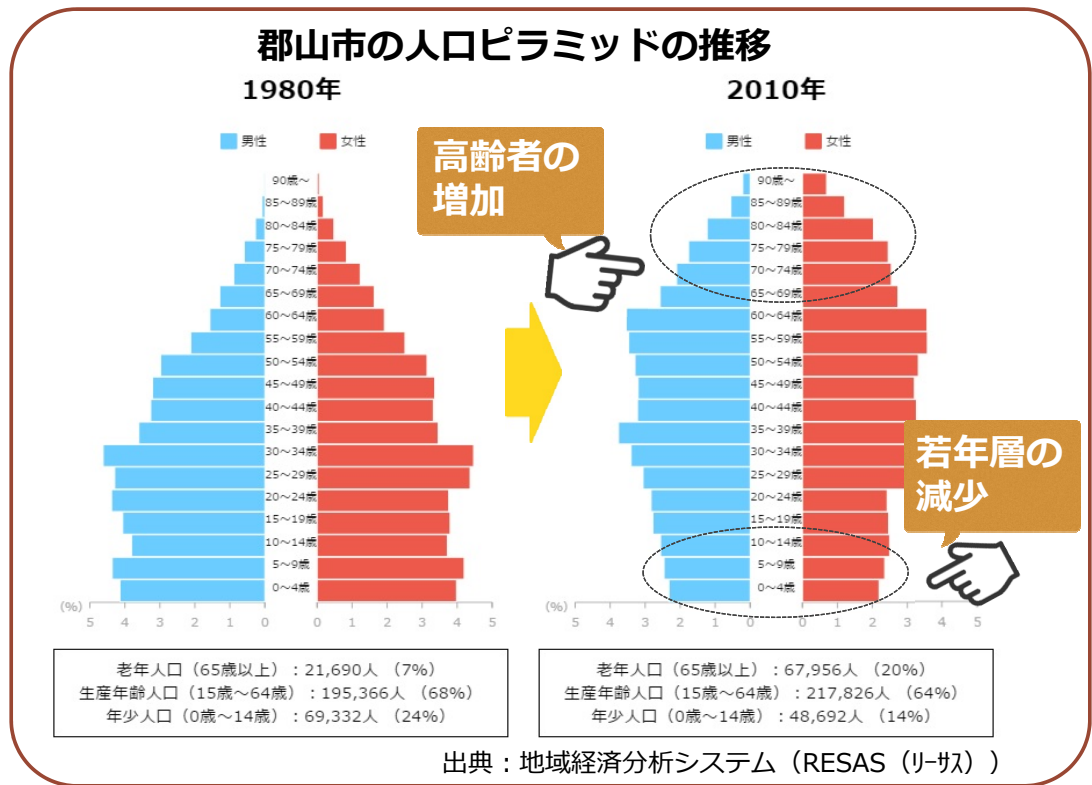
労働力減少

介護の  
担い手不足

現役世代の負担 **増**

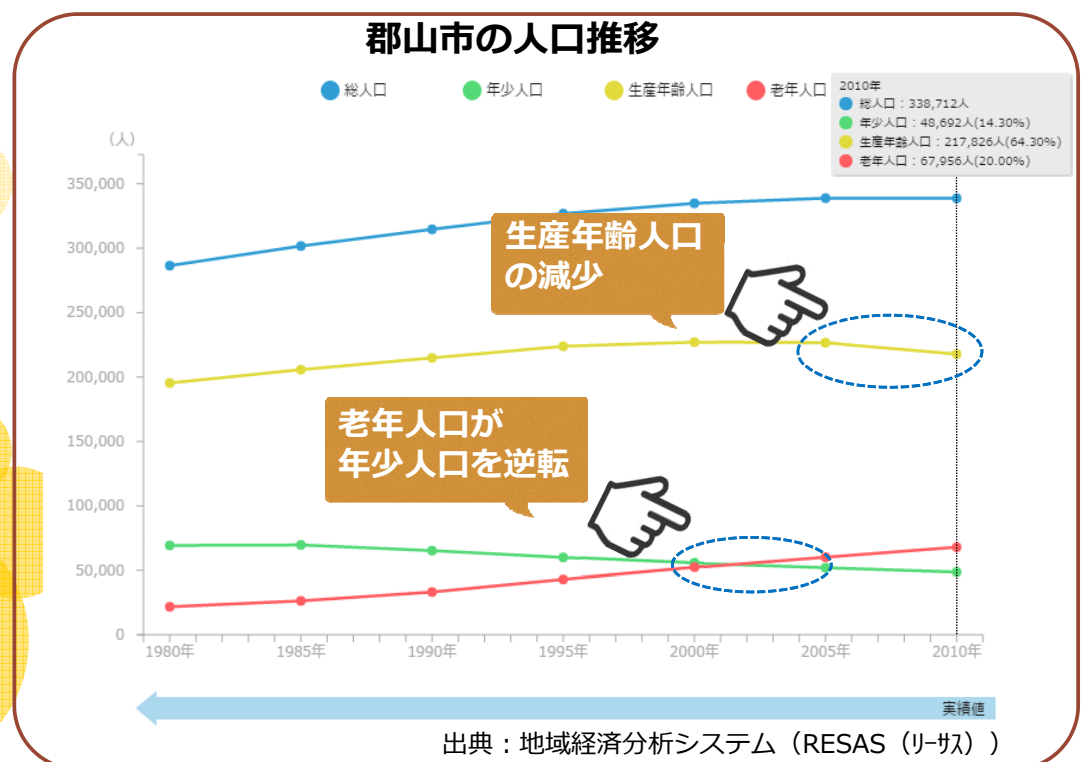
## 提案の背景・現状

「こおりやま」はどうなっていく？



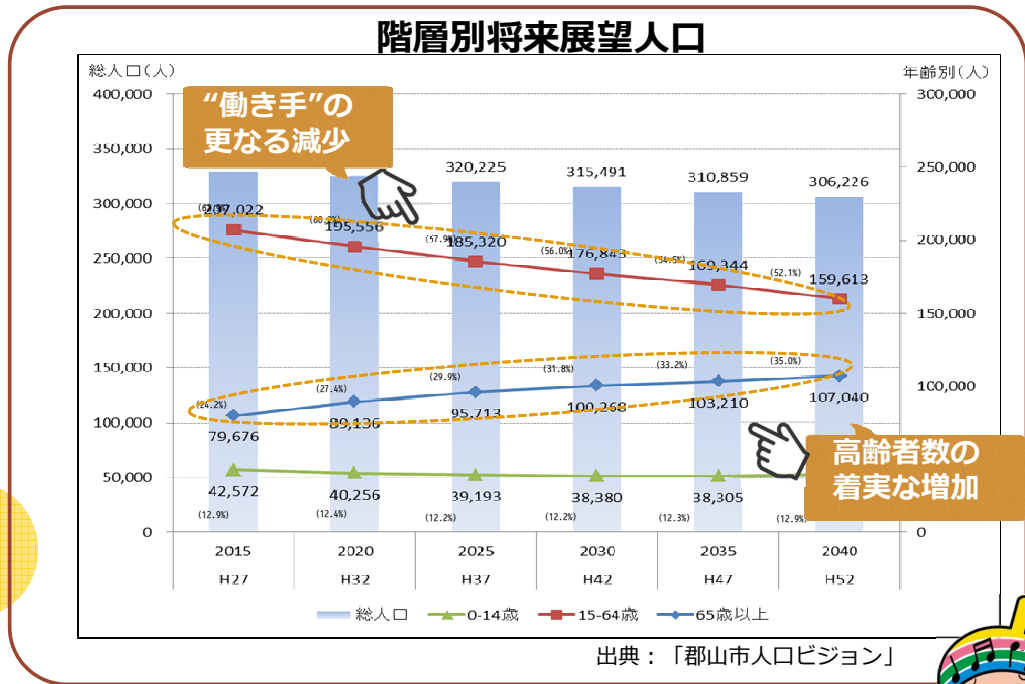
## 提案の背景・現状

「こおりやま」はどうなっていく？



## 提案の背景・現状

「こおりやま」はどうなっていく？



地域活力の低下

都市機能の衰退



## 提案の背景・現状

郡山市総合戦略 (平成28年2月策定)

### 基本目標

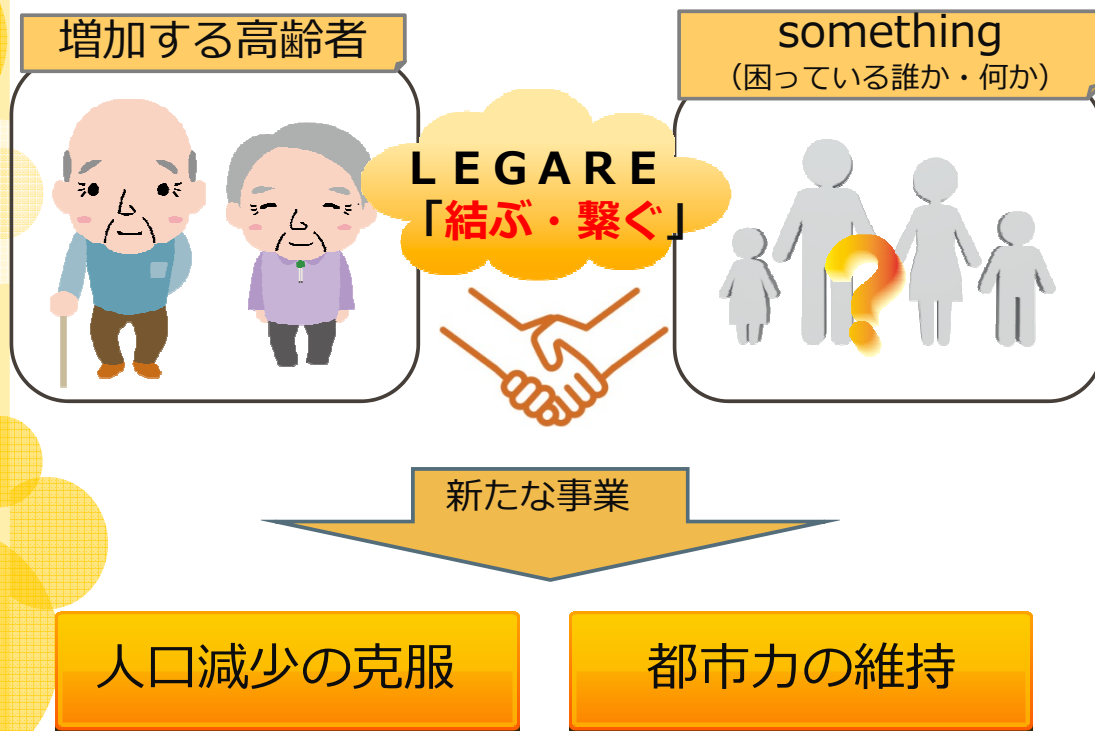
- しごとみがきと産業の活性化
- ひとの流れと定住の促進
- 子育て支援・女性の活躍推進
- 安全・安心に暮らせるまちづくり
- 笑顔で生きいきと暮らせるまちづくり
- 誰もが楽しく学べる環境づくり



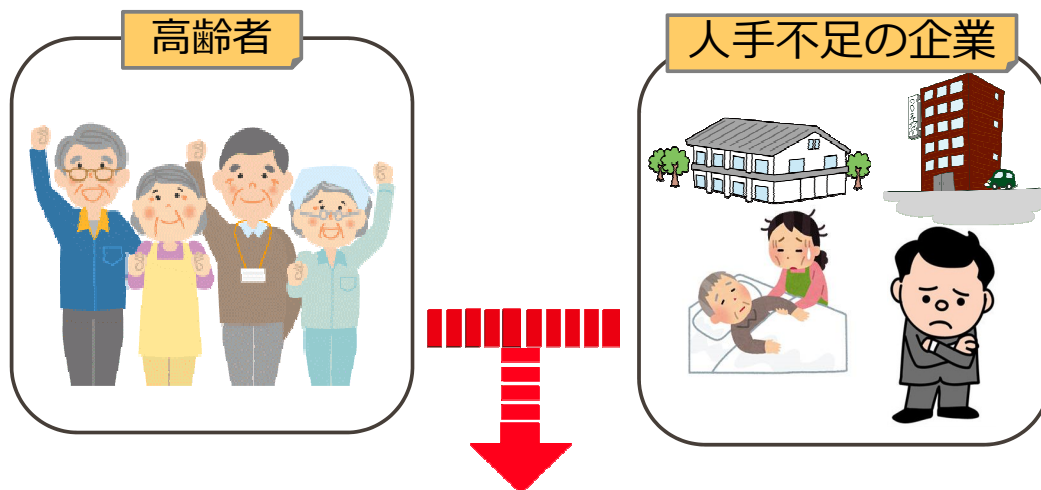
「市民総活躍のまち こおりやま」を目指す



## 提案の背景・現状



## 提案①



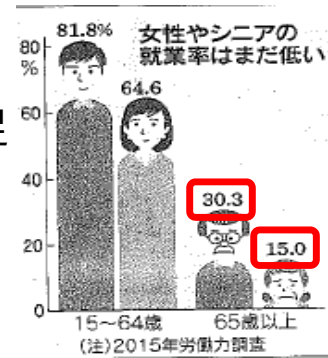
ライフスタイルに合わせて働ける

**「生きがい就労」事業**

提案① ライフスタイルに合わせて働ける「生きがい就労」事業

- 生産年齢人口  $\Delta$ 50万人/年
- 2025年には**600万人**の人手不足
- シニアの就職率が低い
- 条件満たせば働きたい **約30%**

(出典：日本経済新聞、H25高齢者実態調査)



ライフスタイルに合わせて働きたい

人手不足を解消したい



提案① ライフスタイルに合わせて働ける「生きがい就労」事業



生計維持のための就労

地域貢献  
報酬を求めない  
趣味の延長

生計就労

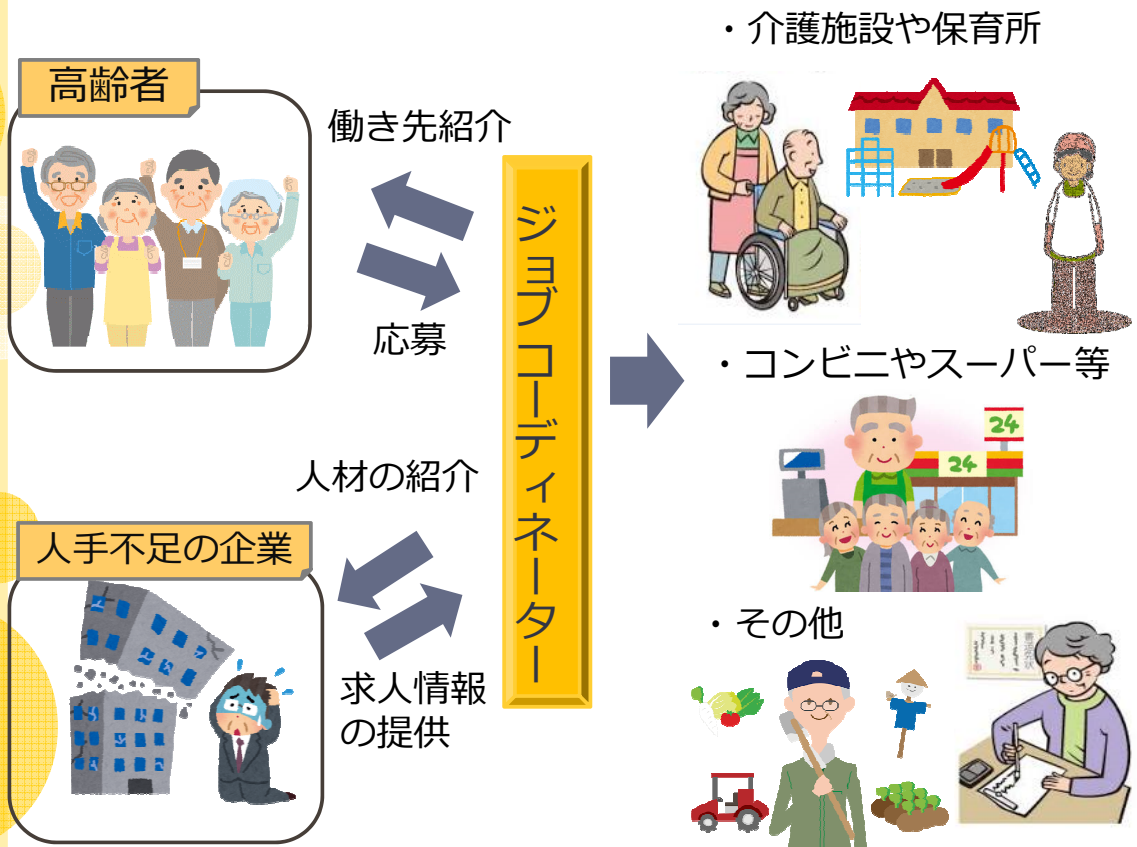
**生きがい  
就労**

ボランティア等

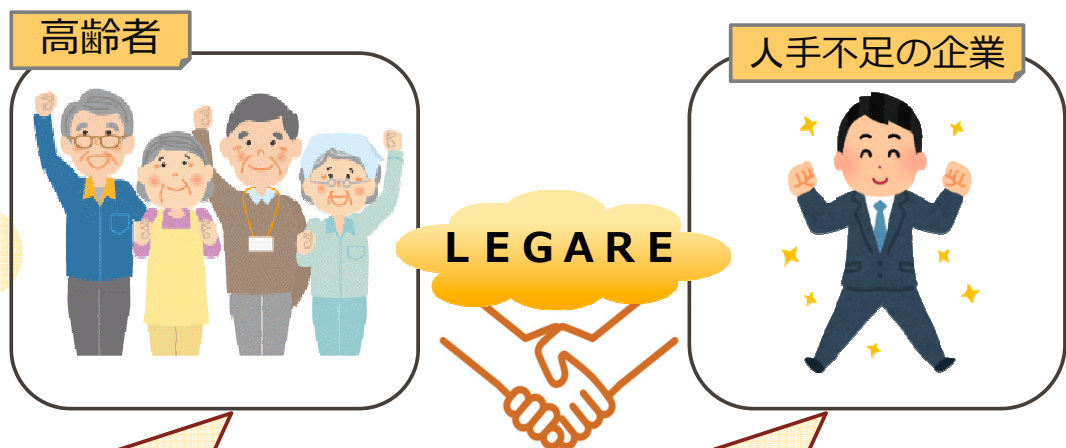
- 体力的、精神的に無理なく働く
- 人との関わりを目的に働く
- 趣味、知識、資格を活かして働く



提案① ライフスタイルに合わせて働ける「生きがい就労」事業



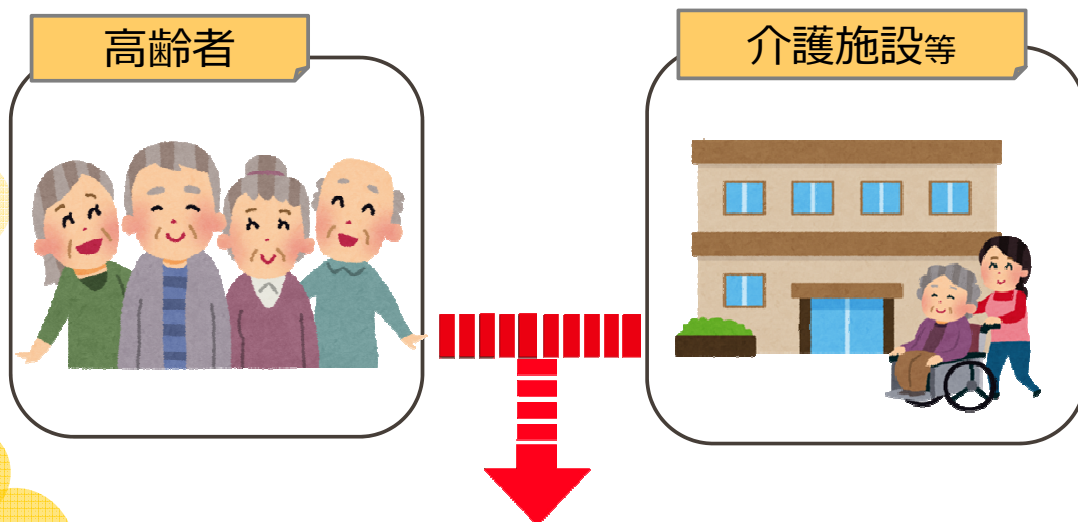
提案① ライフスタイルに合わせて働ける「生きがい就労」事業



- 時間や体力の負担が少ない
- 自分の知識や技術が活かせる
- コミュニティの拡大

- 人手不足が解消
- 正社員も休暇を使いやすくなる

## 提案②



## 介護予防のための 「ボランティアポイント」事業

### 提案② 介護予防のための「ボランティアポイント」事業

要介護認定者数の推移【推計】

	平成28年度	平成32年度	平成37年度
要介護認定者数	14,463人	16,825人	18,665人
要介護認定率	18.3%	19.4%	20.4%

要介護認定率の上昇

高齢者の約4割が地域活動に参加していない

→ 「きっかけがつかめない」  
「参加したいが希望するものがない」

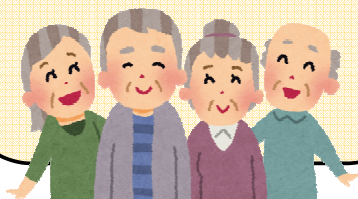
出典：第六次郡山市高齢者福祉計画 郡山市介護保険事業計画（地域包括ケア計画）

介護予防の推進とともに、  
地域参加のきっかけづくりが必要

## 提案② 介護予防のための「ボランティアポイント」事業

### 高齢者

- ・介護予防をしたい！
- ・地域に出て活動したい！



### 介護施設等

- ・利用者の生活を充実させたい！
- ・地域交流を増やしたい！



活動する場所、  
きっかけが必要



マッチング

交流してくれる人が必要

## 提案② 介護予防のための「ボランティアポイント」事業

高齢者が市内の介護施設などで**ボランティアを行った場合に活動に応じてポイントを交付する事業**

### 活動内容

- ・レクリエーション活動への参加、支援
  - ・話し相手、移動の補助
  - ・環境整備、清掃
- などの軽微な活動



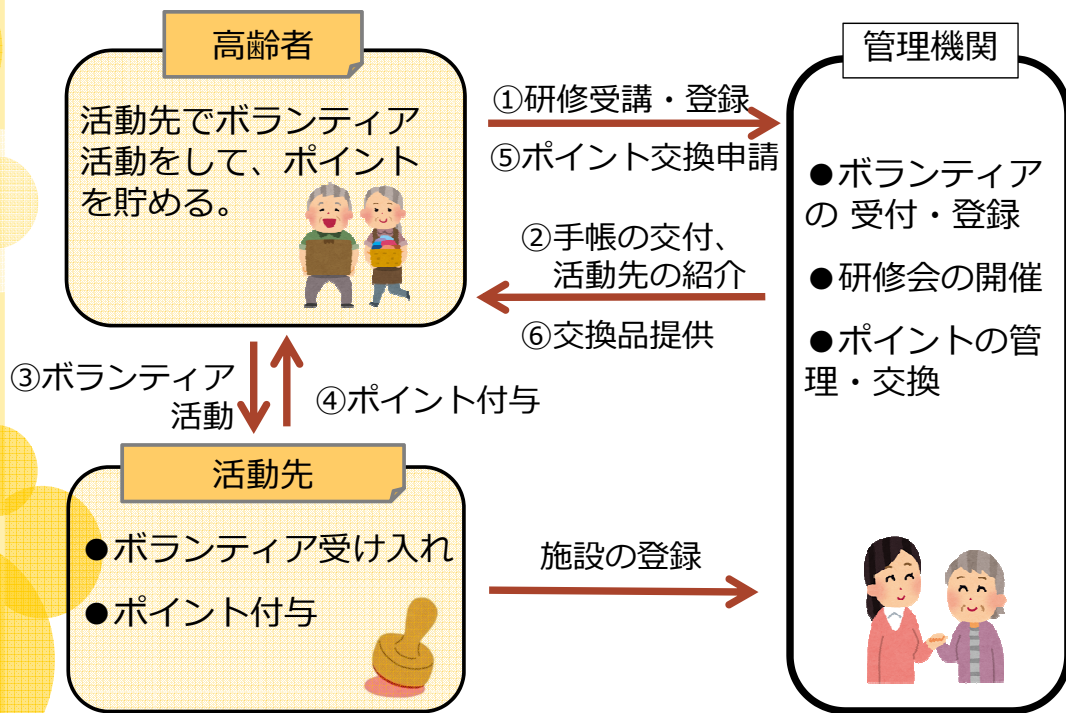
例えば・・・

貯まったポイントは**地元の特産物、バスやタクシーの利用券**に交換できる

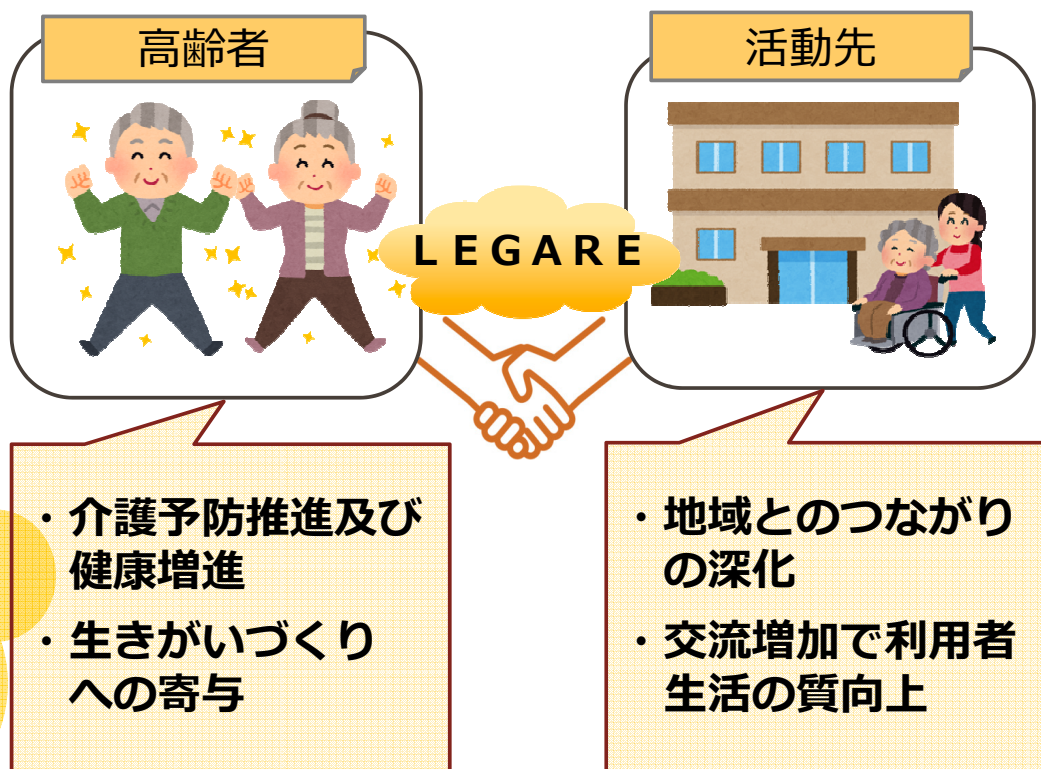
〔 1時間の活動で1ポイント（1ポイントは100円相当）  
1日の上限は2ポイント、年間の上限は50ポイントとする 〕



## 提案② 介護予防のための「ボランティアポイント」事業



## 提案② 介護予防のための「ボランティアポイント」事業

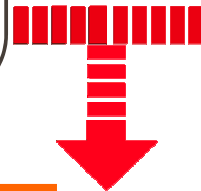


# 提案③

高齢者



学生、シングルマザー



## 空き部屋を活用した 「ホームシェア」事業

### 提案③ 空き部屋を活用した「ホームシェア」事業

高齢者



子ども世帯の  
独立  
→高齢者のみの  
世帯が増加

家・部屋が  
余剰

学生、シングルマザー



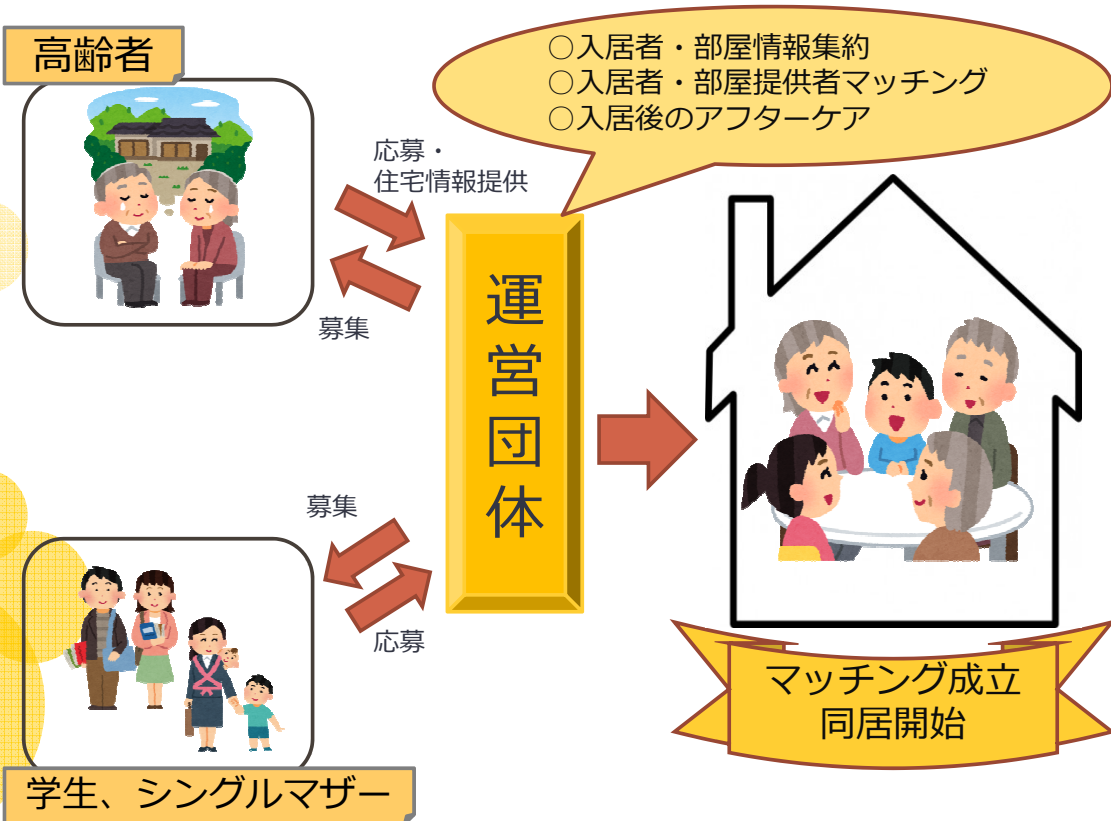
(学生)  
親からの仕送り  
・生活費の減少  
  
(シングルマザー)  
世帯の収入が低  
水準

安価な家・  
部屋が必要

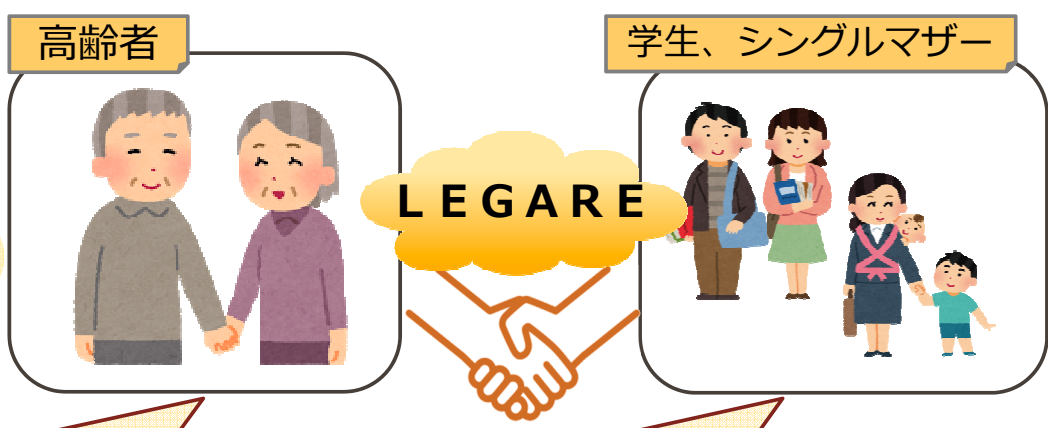


マッチング

### 提案③ 空き部屋を活用した「ホームシェア」事業



### 提案③ 空き部屋を活用した「ホームシェア」事業



**空き部屋（資産）の有効活用**

**若者との交流機会創出**  
→ **孤独・孤立の防止**

**力仕事（雪かき等）のシェアが可能**

**家賃等の負担軽減**

**（学生）**  
県外学生が郡山の文化・魅力に触れる機会増  
→ **卒業後の定住促進**

**（シングルマザー）**  
子どもの見守り相手確保  
→ **仕事への専念が可能**



## 提案④

高齢者



市役所等

ボラン  
ティア

学習

就労

ホーム  
シェア



# セカンドライフ情報の一元化 「いきいきシニア応援窓口」

## 提案④セカンドライフ情報一元化 「いきいきシニア応援窓口」

高齢者



- 相談窓口がわからない
- 複数箇所に足を運ばなければならない

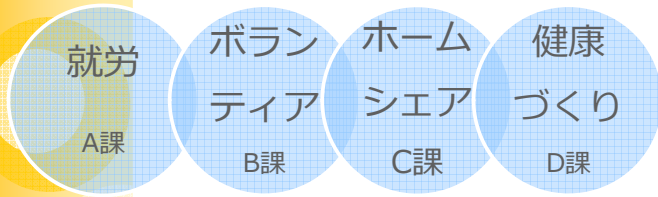
市役所等



- 他の情報がわからない
- 他の事業との連携がとれない

各事業の情報を一元化しワンストップサービスを可能にする仕組みの構築・運営が必要では・・・？

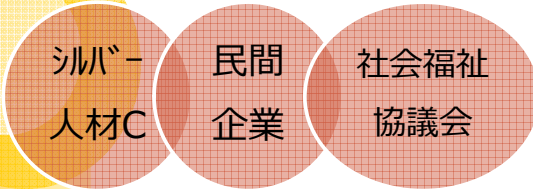
提案④セカンドライフ情報の一元化 「いきいきシニア応援窓口」



庁内連携



情報を一元化・発信



関係機関



高齢者の希望に応じた情報提供

提案④セカンドライフ情報の一元化 「いきいきシニア応援窓口」

高齢者



市役所等



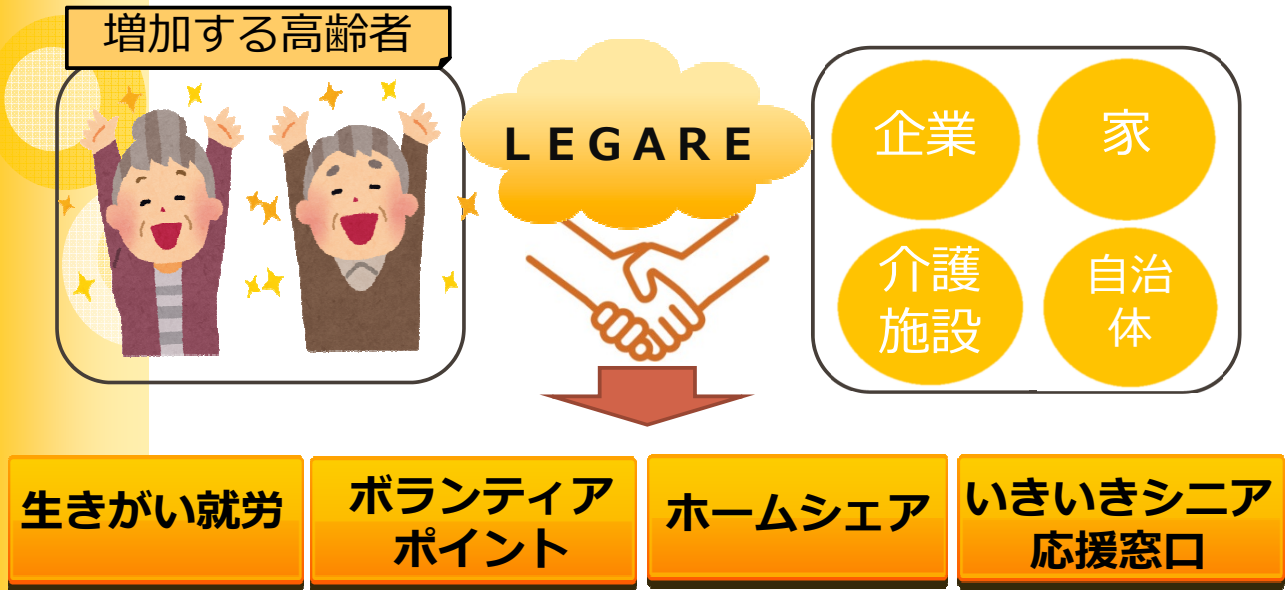
LEGARE



- ・ひとつの窓口で様々な情報を得られる
- ・新たなコミュニティへの参加

- ・情報提供窓口の集約により**事務効率化**
- ・クレーム発生の未然防止

## まとめ



「市民総活躍のまち こおりやま」の実現  
「高」齢者を「幸」齢者に

## ご協力ありがとうございました



柏市



京都府



京都市



松阪市

## おわりに

我々Aグループは、少子高齢化が進展する社会における「こおりやま総活躍」の実現に向けた方策をテーマに研究を重ねてきました。

提案内容の検討で特に重視したものが、「高齢者」と「何か」が互いにメリットを享受できる事業展開が出来ないかというところです。少子高齢化の進展に伴い、市役所においても各事業に投じることができる予算や人員が限られることになると予想される中、1つの事業で複数の課題を解決することが出来れば、より住民の満足度を高めることが出来るものと思います。今回の4つの提案は、グループのメンバーが将来予測等を踏まえて、高齢者と企業・学生等の“LEGARE（結び付け）”により、高齢者の社会参加や活躍機会の創出とともに、地域の課題解決を図るための事業として選んだものとなっています。我々の提案が、今後の「幸」齢者対策の一助となれば幸いです。

先進地視察においては、柏市役所、京都府庁、京都市役所、松阪市役所の4ヶ所を訪問し、それぞれの事業について、実体験等を踏まえた貴重なお話を聞くことが出来ました。御多忙の中、我々の視察を快く受け入れてくださった視察先の皆様に重ねて御礼を申し上げます。

最後に、研究塾に参加する機会を与えていただいた職場の皆様、我々を温かく御指導いただいた政策開発課の皆様、そして関係各課の皆様に改めて感謝を申し上げます。



チャレンジ市役所「新発想」研究塾2016

Bグループ

**Happy**

**空き家**

**Wedding**

## 現状と課題

- 【現状】・交流人口の停滞と定住人口の減少  
・遊休不動産（本提案では空き家という）の増加  
・UIJ ターン等移住者を呼び込む機運の高まり
- 】 湖南・熱海地区での深刻化
- 【課題】・空き家の欠点が行先し、魅力を見出しにくい上に、空き家解体・改装の費用や店舗賃貸料の負担が大きく、利活用に対するハードルが高い。  
・空き家情報が少なく、空き家所有者と利用希望者のミスマッチが生じている。  
・移住者の受け皿や移住に対する不安をやわらげるようなサポートが整っていない。



## 課題解決プラン

湖南・熱海地区を舞台とし「空き家」との結婚をイメージした新たな空き家利活用のスキームを提案

### 1. 花嫁修業プロジェクト＝リノベーションスクールの開催

：熱海の温泉街活性化とまちづくりに対する住民の意識醸成を目的として実施。温泉街の空き家を対象物件とし、リノベーションを行うプログラムにおいて活用策について検討し、実現化を図ることにより、温泉街をはじめとした周辺エリアの価値を向上させ、回遊性を高めることで地域経済の活性化や交流人口の拡大を目指す。

### 2. えんむすびプロジェクト＝空き家マッチングサイト“Repairs”の開設

：空き家バンクに+α（周辺地域の情報等の登録・検索）の機能を持たせたウェブサイトを作成し、空き家所有者と利用希望者のマッチングを促進することにより、空き家の利活用、さらには対象エリアへの移住者の増加を図る。

↓マッチング率UP、効果的なサイト活用のためのメニュー

#### 2-1 婚活バスツアーの開催

：暮らしを具体的にイメージできるような空き家と周辺地域をめぐるバスツアーを実施する。

#### 2-2 お見合いのセッティング

：相談会を実施し、空き家所有者と利用希望者が直接情報交換できる場を提供する。

#### 2-3 お祝い金の贈呈

##### ①住宅取得費補助金

：マッチングが成立した際に住宅の取得費の一部を助成する。

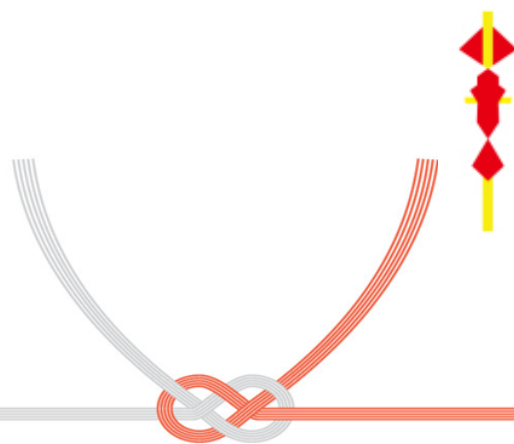
##### ②ABC補助金

：空き家をビジネス等に利用する場合に、資金調達にかかるクラウドファンディングの手数料の一部を助成する。



交流人口の拡大・定住人口の増加⇒地域活性化・地域の魅力アップ

# Happy 空き家 Wedding



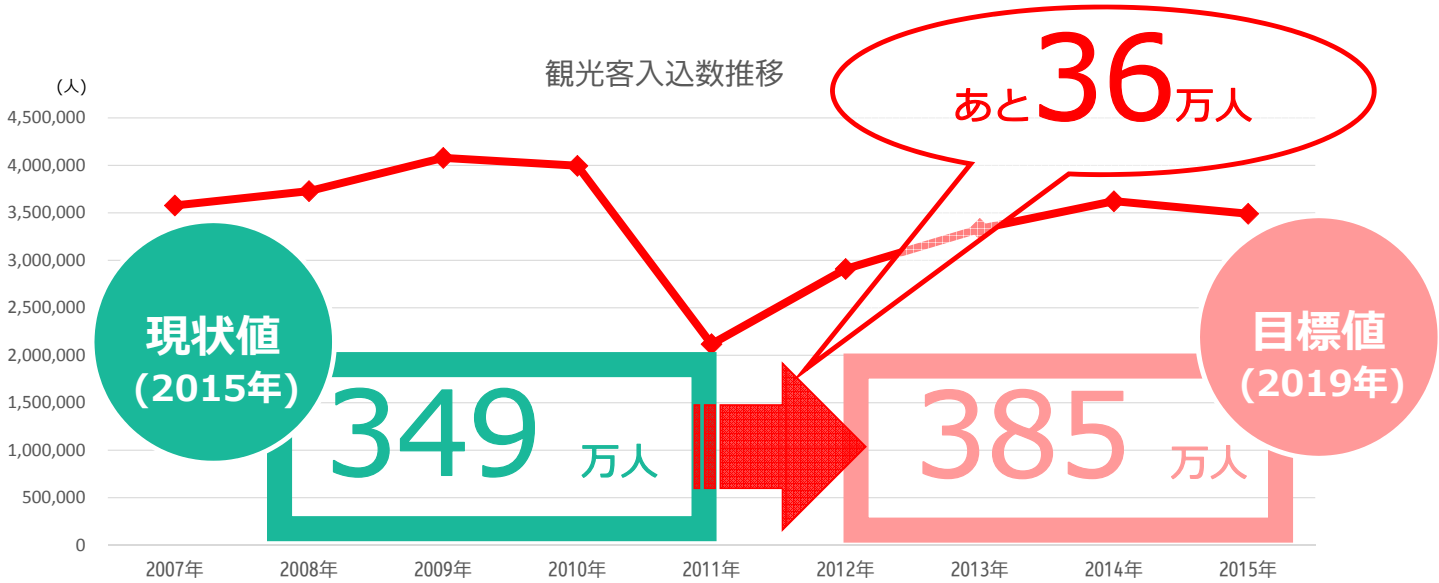
## チャレンジ市役所「新発想」研究塾2016 Bグループ

## チャレンジ市役所「新発想」研究塾2016 Bグループ

道路建設課  
水道局経理課  
産業政策課  
湖南行政センター  
資産税課

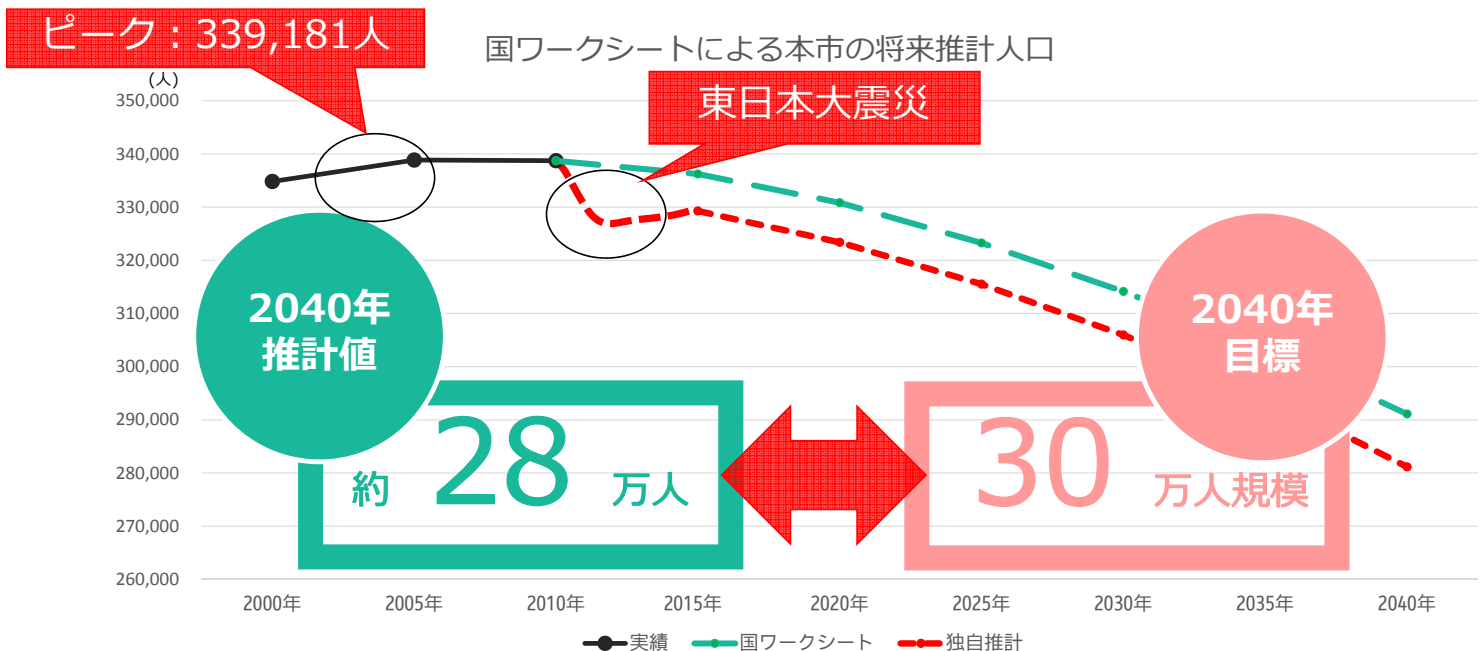
技査 野田 剛史  
主事 栗城 菜月  
主事 遠藤 美里  
主事 上遠野 幸平  
主事 高橋 亜裕

## \* 郡山市の悩み その1 交流人口の停滞



資料：福島県商工労働部・観光交流局観光交流課  
「福島県観光客入込状況」

## \* 郡山市の悩み その2 定住人口の減少



資料：国将来人口推計ワークシート

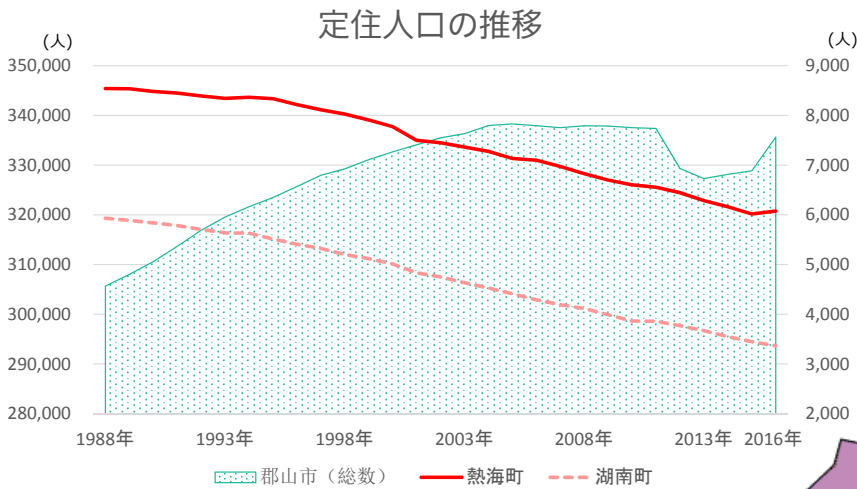


# \* 郡山市の空き家数の増加



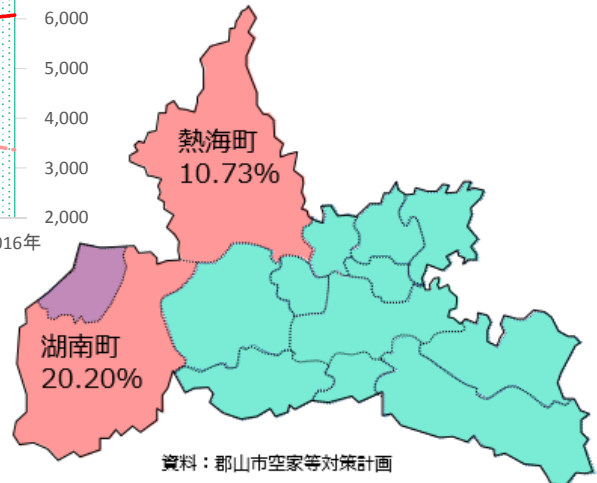
資料：総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」

# \* 深刻化する湖南町と熱海町



資料：統計情報

湖南町・熱海町の空き家率



資料：郡山市空家等対策計画

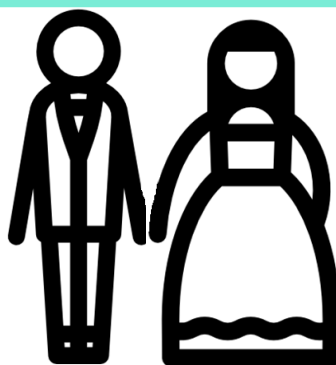
# Happy 空き家 Wedding

行政 = 結婚相談所



空き家所有者  
= 花嫁の父

利用希望者  
= 花婿



空き家  
= 花嫁

Happy 空き家 Wedding

## Happy 空き家 Wedding



花嫁修業プロジェクト



えんむすびプロジェクト

# 1 花嫁修業プロジェクト



空き家を  
どうにかしたい！

空き家所有者  
(花嫁父)



まちづくりに  
関わりたい！

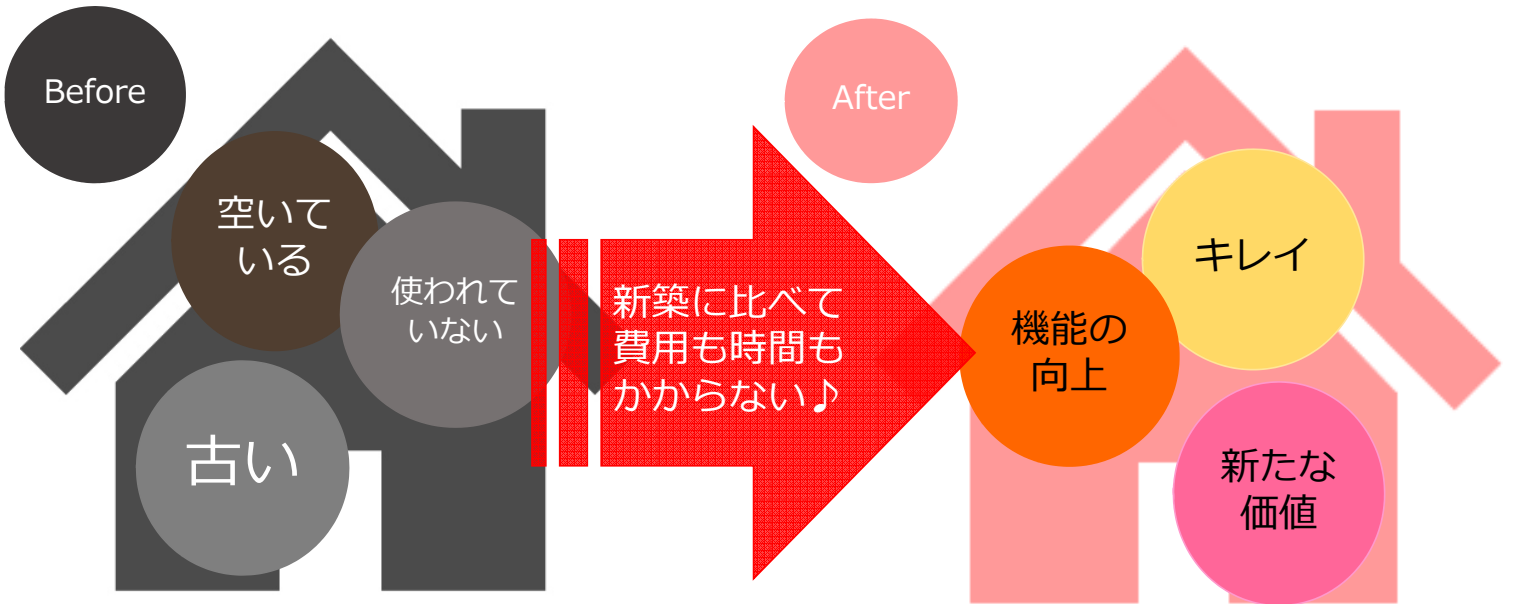


新しくなにか  
はじめたい！



利用希望者  
(花婿)

## \* リノベーションとは

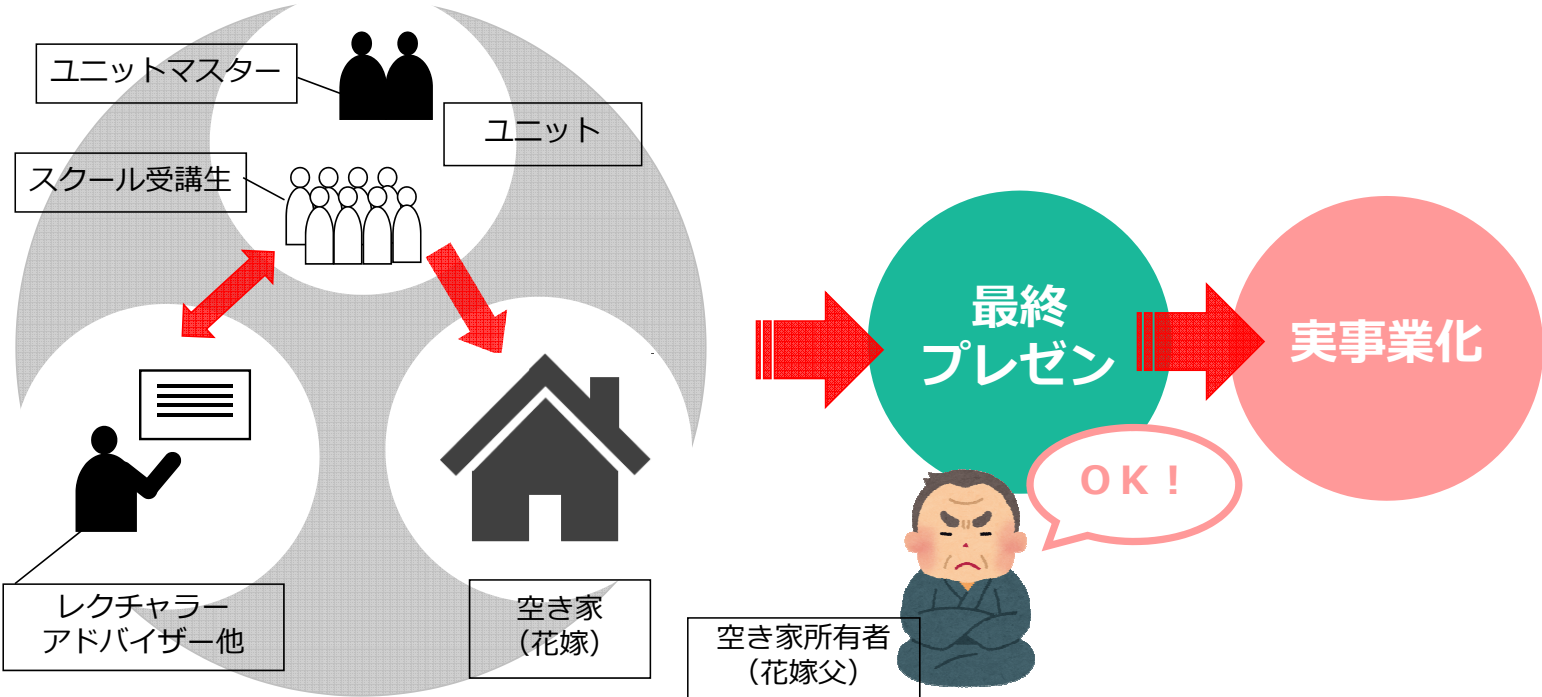


# \*リノベーションスクールとは

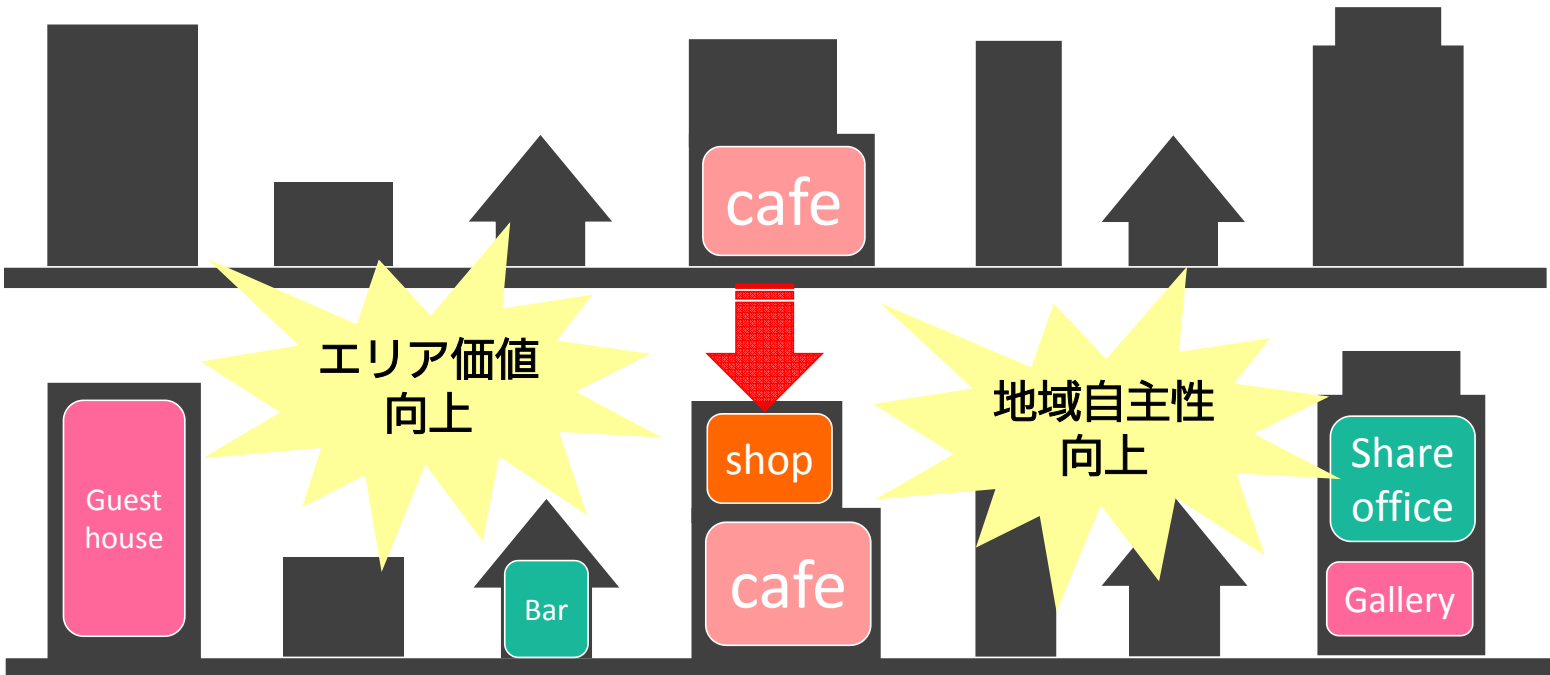
行政 = 結婚相談所 **開催**



# \*リノベーションスクールとは



## \* 花嫁修業プロジェクトの効果



## \* 花嫁修業プロジェクトの効果

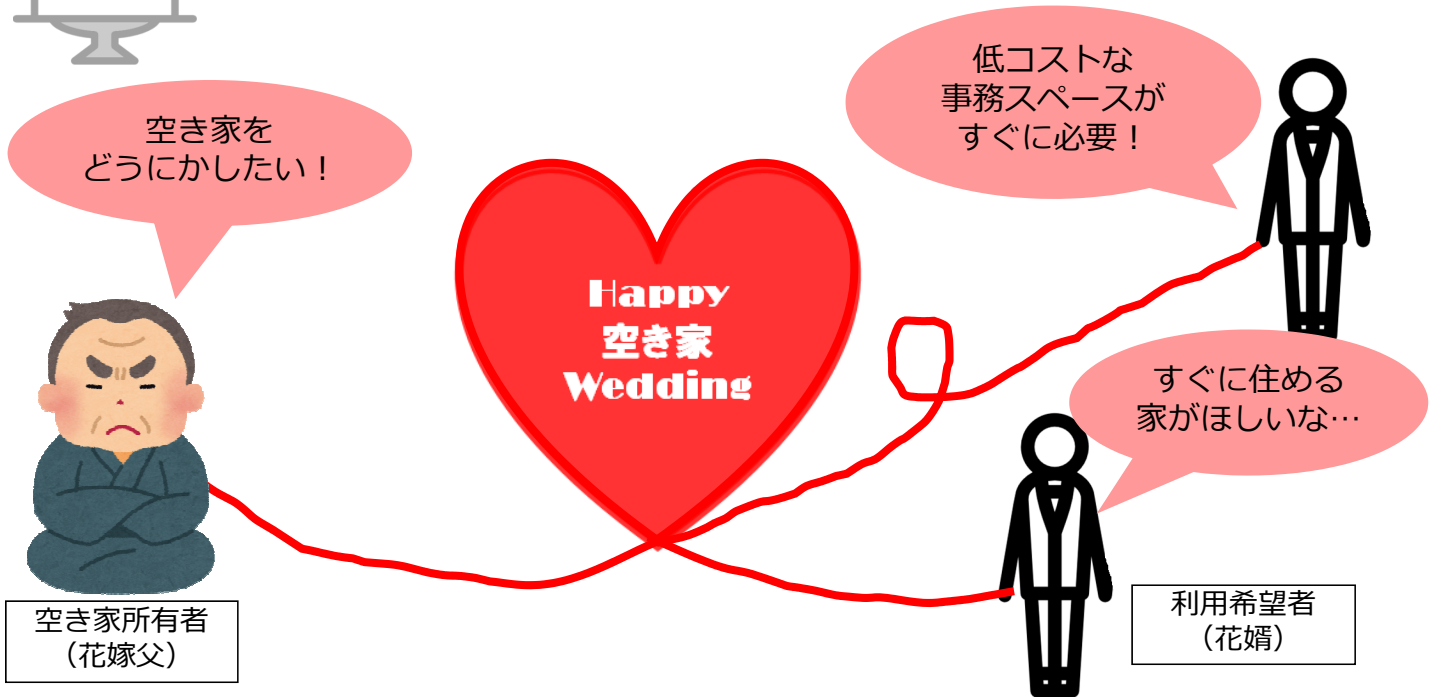


## \* 花嫁修業プロジェクトの効果

リノベーションスクールの先進地事例（北九州市・和歌山市）



## 2 えんむすびプロジェクト



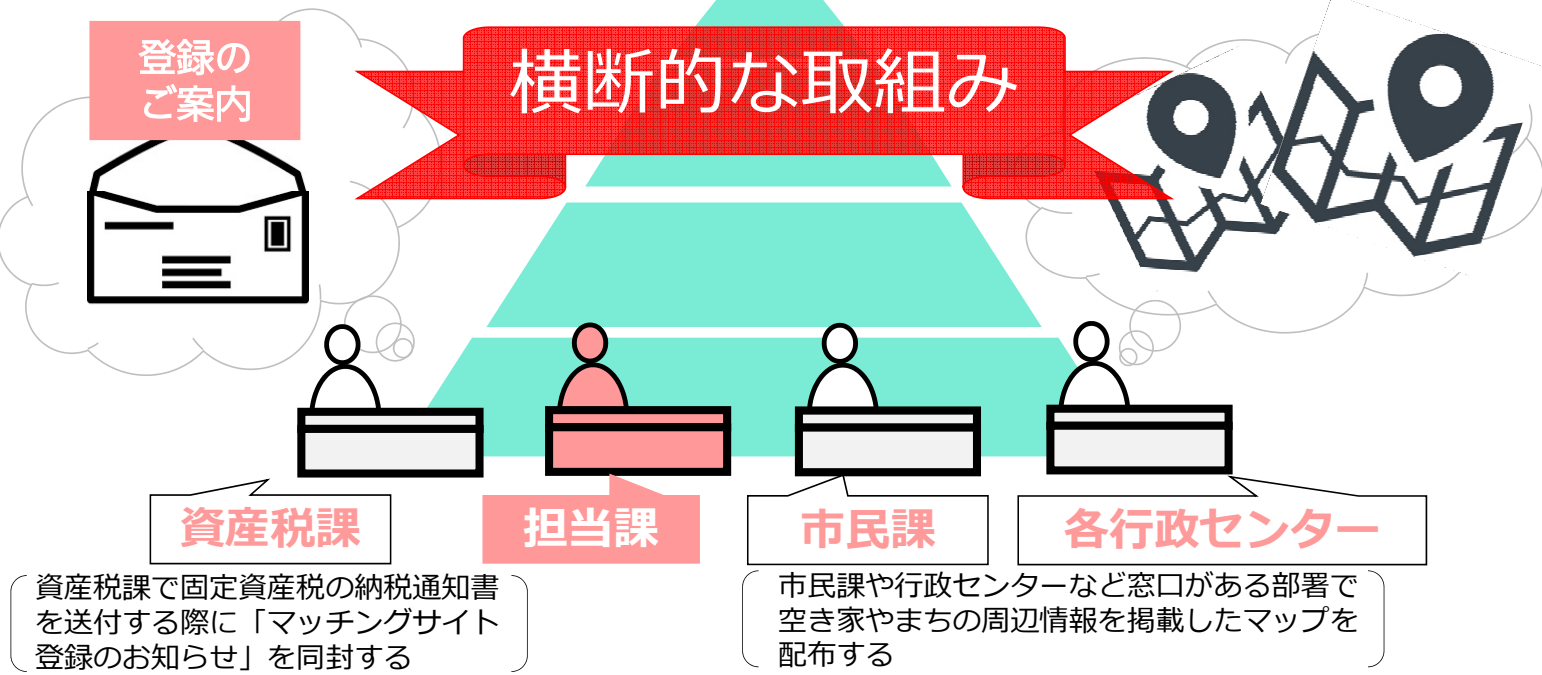
# \* 本市の空き家対策



# \* 空き家マッチングサイト“Repairs”



# \* 空き家マッチングサイト“Repairs”



# \* Repairs活用のためのメニュー



2-1 婚活バスツアーの開催

2-2 お見合いのセッティング

2-3 お祝い金の贈呈

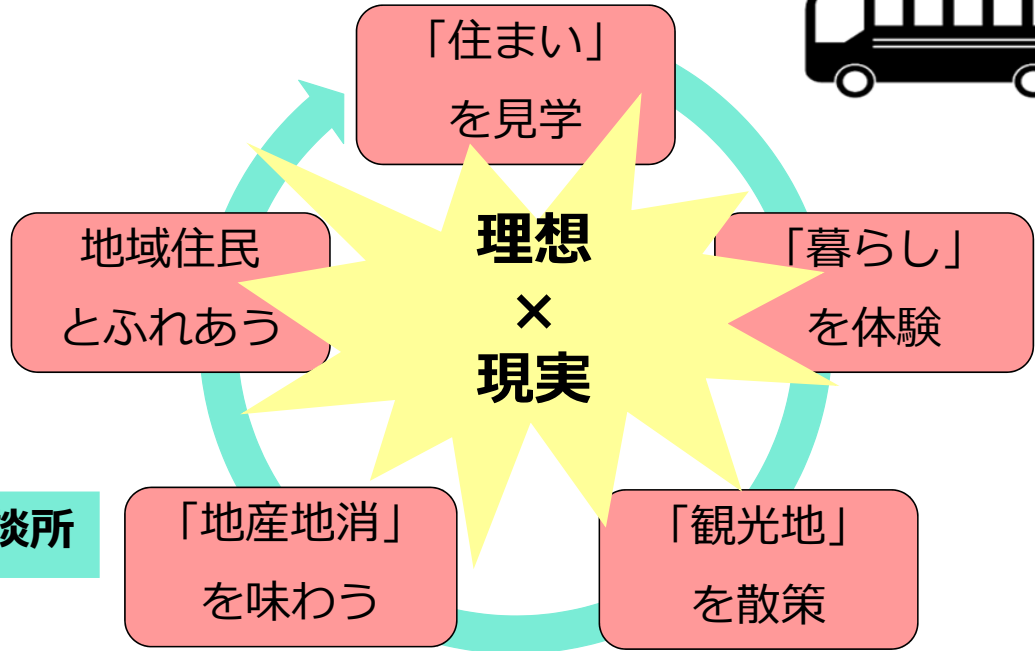




## 2-1 婚活バスツアーの開催



行政 = 結婚相談所



## 2-2 お見合いのセッティング



空き家所有者  
(花嫁父)

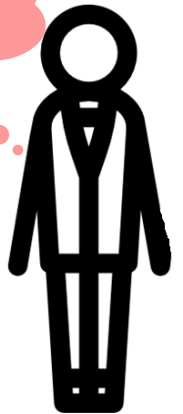
空き家を使う人が  
どんな人が  
話してみたい

行政 = 結婚相談所

お見合い

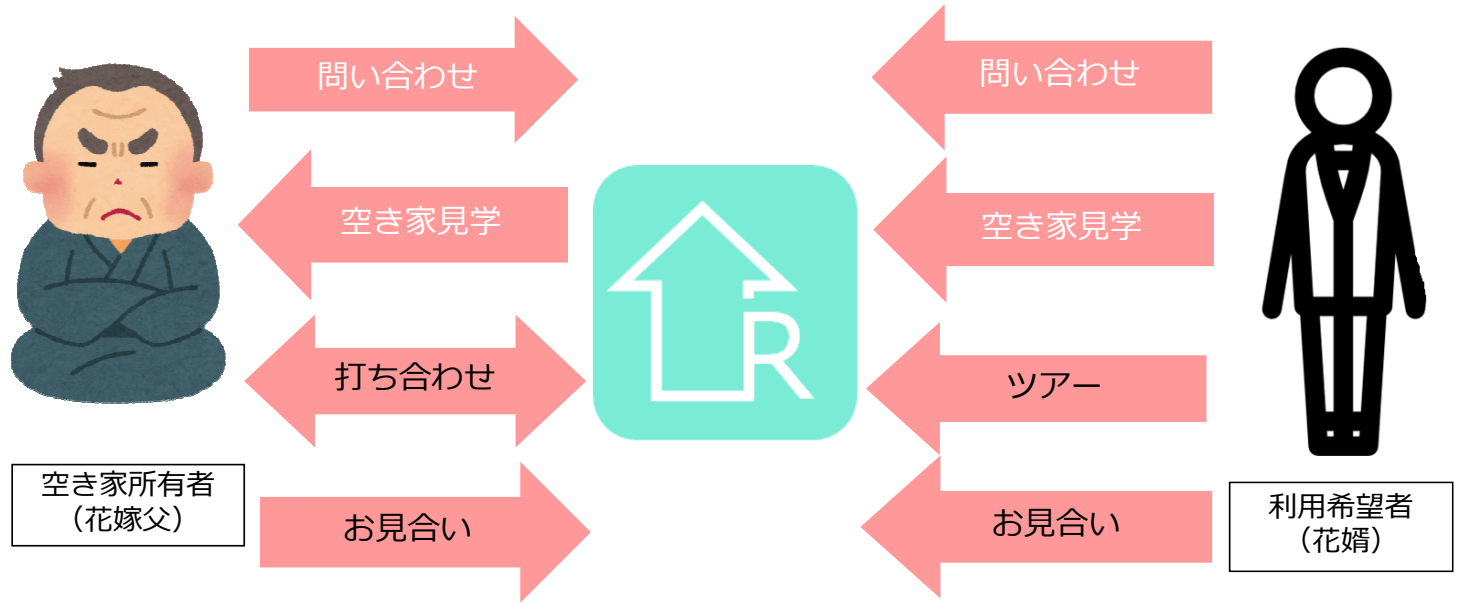
空き家所有者  
×  
利用希望者

空き家所有者と  
直接会って  
話したい

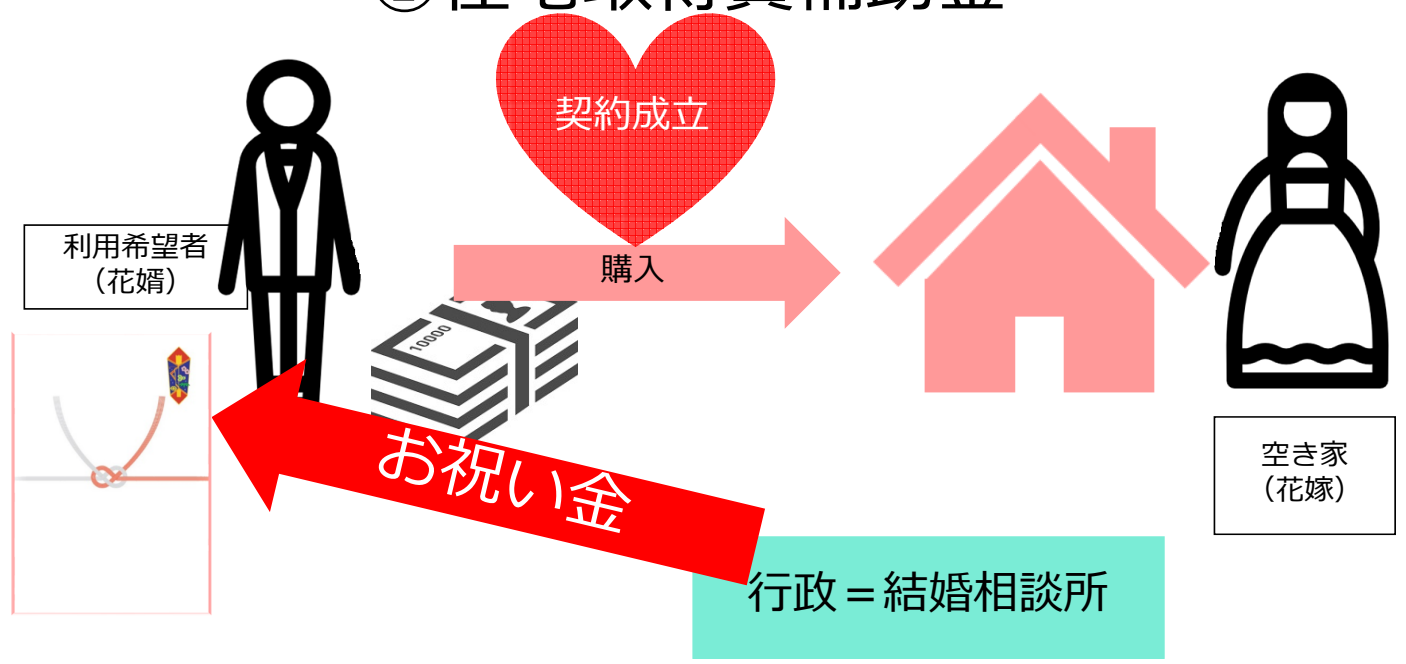


利用希望者  
(花婿)

# \*“Repairs”の活用



## 2-3 お祝い金の贈呈 ～①住宅取得費補助金～





# 2-3 お祝い金の贈呈



## ～ A B C 補助金～

A

空き家を

A kiya

B usiness

B

ビジネスに利用したい花婿のための

C rowdfunding

C

クラウドファンディング 手数料



# 2-3.お祝い金の贈呈

## ～② A B C 補助金～



郡山市に  
ゲストハウ  
ス第一号を  
つくる！！

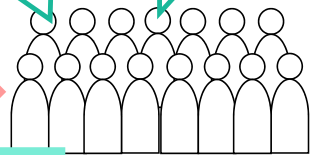
目標達成 120万円！

賛成！

いいね！

企画

PR



利用希望者  
(花婿)

96万円…

クラウドファン  
ディングサイト

120万円

小口出資者

手数料20%  
いただきます。

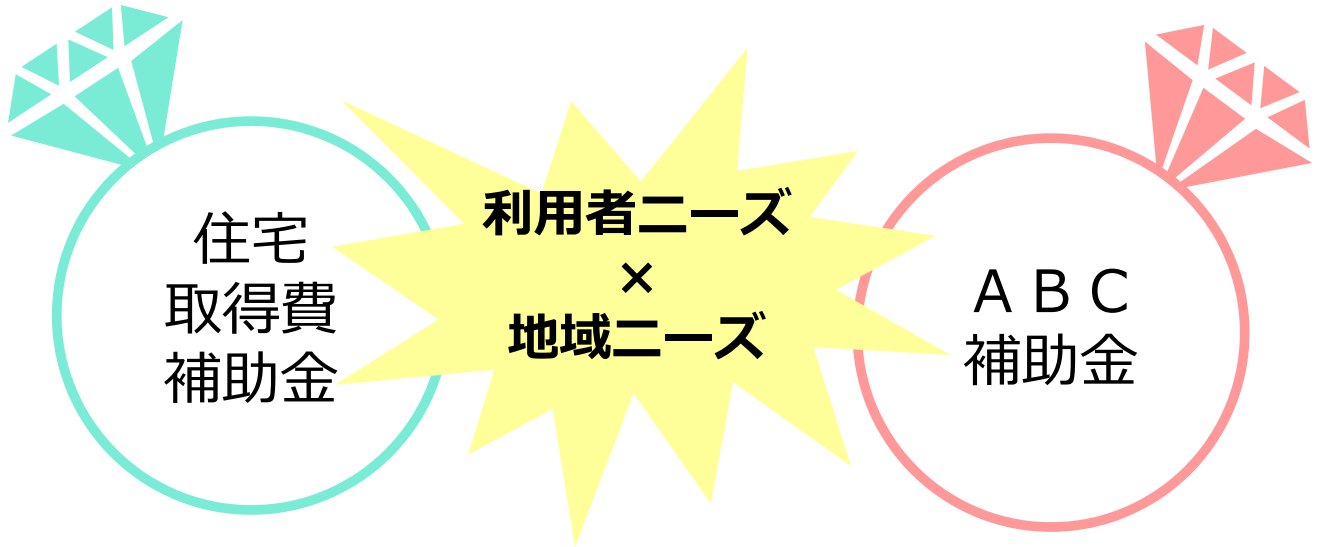
手数料の一部  
を補助

お祝い金

行政 = 結婚相談所

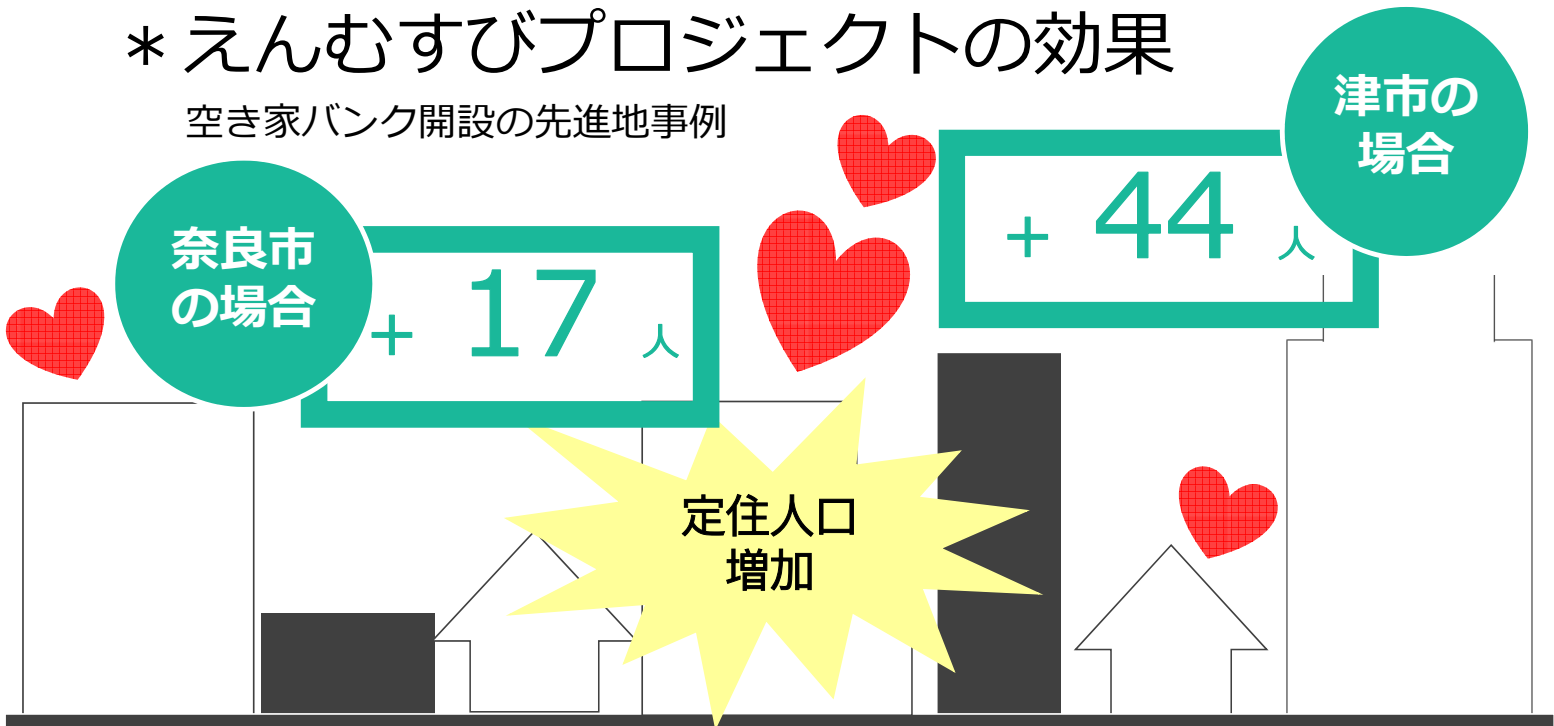


## 2-3 お祝い金の贈呈



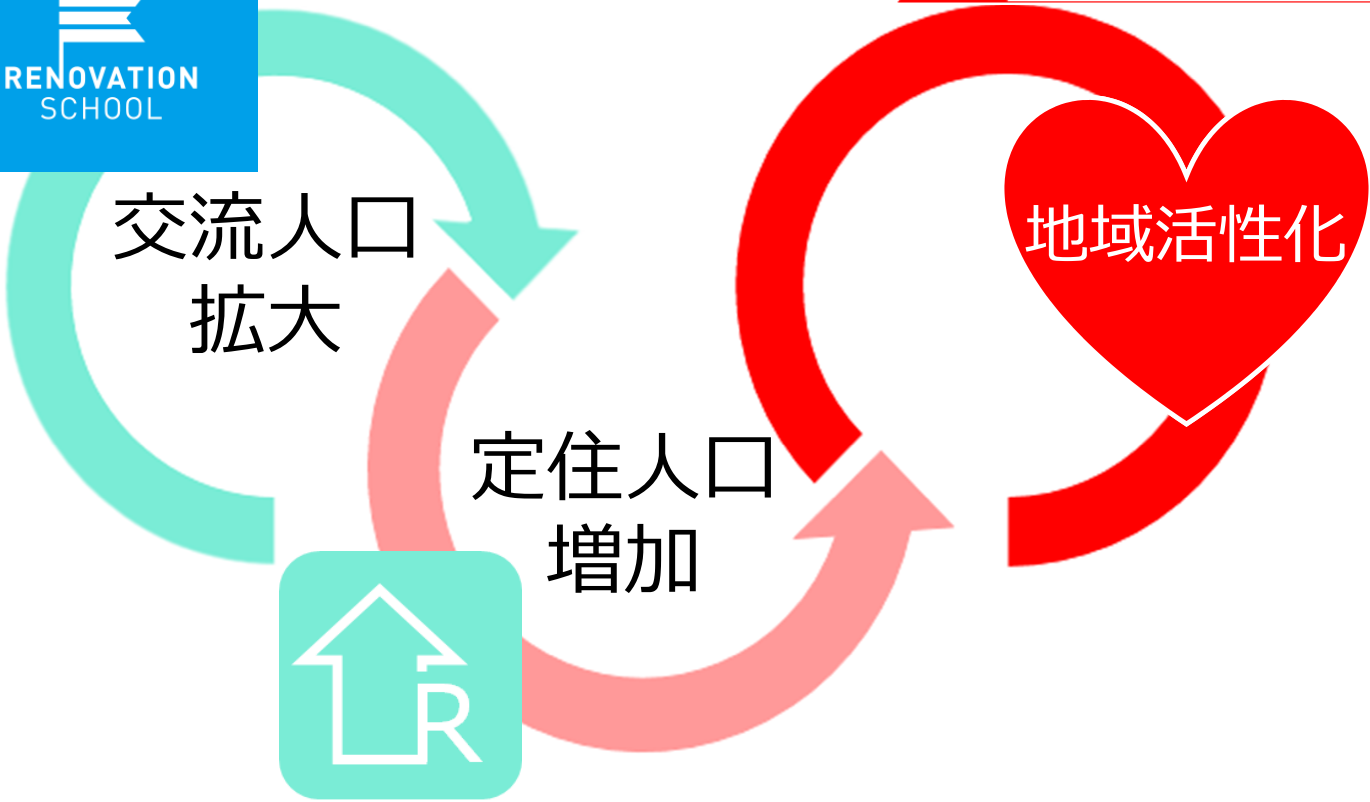
## \* えんむすびプロジェクトの効果

空き家バンク開設の先進地事例





Happy 空き家 Wedding



Thank you for your attention!



和歌山市役所



津市美杉総合支所



奈良市役所



## おわりに

私たち B グループは、交流人口の伸び悩みと定住人口の減少に歯止めをかけるため、空き家をツールとして地域を活性化できないかと考え、調査研究を進めてきました。



今回は特に、人口減少や空き家の増加が著しい湖南町と熱海町に絞り、「本市の魅力ある資源として地域が生き残っていくためにはどんな施策が必要なのか」を裏テーマに据えました。中心市街地を対象としたものが大半であるリノベーションスクールの開催地をあえて郊外にしたのも、その理由からです。

また、本市でも創設に向けた取り組みが進められている「空き家バンク」をさらに効果的に活用するため、現在の空家等対策事業と地域活性化を結びつけた次のステップを提案しました。

この施策によって、空き家や対象エリアだけでなく、市民、そして郡山のまち全体が“Happy”になれば、と強く想っています。

最後に、お忙しい中ご協力いただいた視察先の皆様、研究塾という貴重な機会を設けていただいた政策開発課の皆様、そして研究塾の趣旨をご理解いただき快く送りだしていただいた職場の皆様にご改めて感謝を申し上げます。



## 活動の経過

### 開講式 平成 28 年 5 月 18 日 (水) 午前 11 時～午前 11 時 30 分

庁内から公募により集まった熱意ある 10 名の若手職員で構成されるチャレンジ市役所「新発想」研究塾 2016 の開講式を行いました。

開講式では本研究塾の塾長でもある品川市長より、「バックキャストの発想から今やるべき課題を見つけることで、新たな施策を提案してください。」と激励がありました。



### オリエンテーション 平成 28 年 5 月 18 日 (水) 午前 11 時 30 分～午後 2 時 30 分

各グループの班長と副班長を選出した後、研究塾の代表及び副代表を選出しました。また、前年度の班長から研究テーマ選定の経緯や討議の進め方など講話を受け、研究塾としての第一歩を踏み出しました。



代表 上遠野 幸平主事 (湖南行政センター)

副代表 檜村 圭亮技師 (下水道建設課)

Aグループ

班長 鈴木 俊幸主査 (職員厚生課)

副班長 横田 千明主事 (こども支援課)

Bグループ

班長 野田 剛史技査 (道路建設課)

副班長 栗城 菜月主事 (水道局経理課)

### 討議 平成 28 年 5 月 18 日 (水) ～10 月上旬

各グループで決定した研究テーマについて、約 5 か月間にわたり討議を行いました。

討議中は、本市が抱える課題の現状や先進地の事例などを調査するとともに、「元気高齢者の活躍支援策」や「空き家利活用によるまちづくり」について研究し、報告書の作成に当たりました。



## 活動の経過

### 先進地視察（Aグループ） 平成28年7月27日（水）～7月29日（金）

元気高齢者の活躍の場をあらゆるカタチで提供することにより、今後の少子高齢化社会における諸課題の解決及び都市力の維持を図ること目的に、柏市役所福祉政策課外3箇所の先進地を視察しました。

#### [視察先]

- 柏市役所福祉政策課
- 京都府庁住宅課
- 京都市役所長寿福祉課
- 松阪市役所高齢者支援課

京都府庁での様子 ▶



### 先進地視察（Bグループ） 平成28年7月20日（水）～7月22日（金）

近年、人口減少による空き家問題が顕在化しており、郡山市においても空き家率は11%を超える現状にあることから、空き家利活用によるまちづくりを提案する為、和歌山市役所商工振興課外3箇所の先進地を調査しました。

#### [視察先]

- 和歌山市役所商工振興課
- 特定非営利活動法人市民のわかやま
- 奈良市役所奈良ブランド推進課
- 津市役所美杉総合支所地域振興課



津市役所美杉総合支所での様子



## 活動の経過

### 報告会 平成 28 年 10 月 12 日 (水)

市役所特別会議室において、チャレンジ市役所「新発想」研究塾 2016 報告会を開催しました。A・Bグループの計 10 名の職員が、自ら設定したテーマについて、今年の 5 月から約 5 か月間にわたり調査研究した成果を品川塾長（市長）をはじめ、大勢の職員出席のもとで報告しました。



上遠野代表によるあいさつ



各グループの発表を聞く品川塾長



Aグループの皆さん



Bグループの皆さん



参加した大勢の職員

## 活動の経過

### 報告会 上遠野代表あいさつ【要旨】

私たちは郡山市職員であると同時に、ひとりの住民でもあります。私たちが市民の皆様のために考える政策は、そのまま私たちの生活に返ってくるものであるという認識のもと、市民の皆様によりよい生活のため、そして自分たちのこれからの未来のために、毎週の討議や先進地視察など調査研究に取り組んで参りました。



### 報告会 品川塾長（市長）講評【要旨】



研究塾生の皆様、約5か月間に及ぶ研究ありがとうございました。市の課題を「自らの問題」として捉えており、非常にリアリティのある提案をしていただきました。

ビジネスとしての可能性もあるので、民間企業等の連携や、Aグループ・Bグループそれぞれの提案のマッチングによる相乗効果なども検討していただき、今回の発表で終わりではなく、実現に向けて取り組んでください。



品川塾長（市長）を囲んで記念撮影

# 研究塾生の感想

## Aグループ

---



鈴木 俊幸

グループメンバーそれぞれの個性やチカラの“LEGARE(結び付け)”により、今回の提案を作り上げることが出来ました。その中で自身も新たな視点や経験を得られ、大変充実した時間となりました。共に貴重な経験を共有したグループの仲間や、機会を与えていただいた全ての皆様に感謝いたします。

他部署のメンバーと専門外の分野について調査研究をしたことで、様々な発想や意見に触れることができ、今後に繋がる良い経験となりました。貴重な機会を与えてくださった皆様、サポートしてくださった職場の皆様に、心より感謝申し上げます。



横田 千明



岡田 真由美

異なる業務に携わるメンバーとの出会いや、普段の業務とは違う分野の政策立案は大変でしたが貴重な経験でした。

今回の研究塾での経験や人とのつながりを今後も大事にしていきたいです。ありがとうございました。

あっという間の5ヶ月間でしたが、ここで得られた知識、スキル、刺激は、私にとって全てプラスとなりました。提案内容が実現され、市民の方々にとってもプラスとなればさらに嬉しいです。

このような機会を与えていただきありがとうございました。



佐藤 有莉



櫻村 圭亮

様々な部署の方と意見交換ができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。視察や政策提言等の新たな経験の中で学んだことを今後に活かしていきたいと思います。

このような貴重な機会を与えていただきありがとうございました。

## B グループ



野田 剛史

自分たちの郡山への想いを政策提言として表すことができたのは、とても貴重な経験でした。討議を通して自分に足りないものを再認識しました。お世話になりました関係各課の皆様に心から感謝申し上げます。

貴重な機会を与えていただいた政策開発課の皆様、職場の皆様、ご協力いただいた視察先の皆様に感謝申し上げます。

グループ内の意見や考えを一つにまとめること、そしてそれを伝えることの難しさを痛感した5ヶ月間でした。この経験を今後の業務に活かしていけるよう、精進して行く所存です。



栗城 菜月



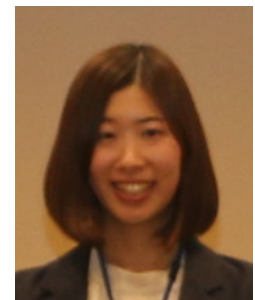
高橋 亜裕

先輩研究生の発想力や仕事ぶりには圧倒されることばかりで、学び通しの5ヶ月間でした。視察から調査研究・発表まで、どれをとっても多くの出会いや貴重な経験ばかりでした。

このような機会をいただき、応援・協力してくださった職場の皆様と研究生の皆さんに感謝いたします。

週一の研究塾は、わたしにとって、毎回新しい発見がある楽しい時間でした。夢中になって取り組んだ5ヶ月間の経験を、今後の業務にも活かしていきたいです。

貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。



遠藤 美里



上遠野 幸平

所属も世代も異なるメンバー同士での討議を通し、様々な意見や発想に触れたことは、自分にとって大きな経験となりました。

この機会を下さいました皆様に感謝するとともに、討議で得た知識や経験を今後の業務に活かせるよう精進したいと思います。

# 資 料

## チャレンジ市役所「新発想」研究塾設置要綱

### (設置)

第1条 市民ニーズを的確に捉え地域の魅力を高めた市民満足度の高いまちづくりを実現するため、市民生活を直視し、新しい発想のもと知恵と工夫を活かした実効性のある施策の調査研究を行うとともに、本市の若手職員の政策形成能力の向上に資するチャレンジ市役所「新発想」研究塾（以下「研究塾」という。）を設置する。

### (調査研究事項等)

第2条 研究塾は、次に掲げる事項を調査研究し、その成果を市長に報告する。

- (1) 東日本大震災・原子力災害からの復興を加速させる取組み
- (2) 市民福祉の増進につながる取組み
- (3) 自主的・自立的なまちづくりのための取組み
- (4) 先導性・モデル性のある取組み
- (5) その他本市が解決すべき課題への取組み

### (組織)

第3条 研究塾は、公募または政策開発部長が指定する所属の長が推薦する10人以内の研究塾生をもって構成する。

2 研究塾に代表及び副代表1人を置き、研究塾生の互選によって定める。

3 代表は、研究塾を代表し、会務を総理する。

4 副代表は、代表を補佐し、代表に事故があるときは、その職務を代理する。

### (会議)

第4条 会議は、代表が招集し、代表が会議の座長となる。

2 代表は、特に必要があると認めるときは、研究塾生以外の職員の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

### (研究班)

第5条 研究塾に調査研究事項に応じ、専門的に調査研究を行うため、政策開発部長が定める数の研究班を置く。

2 研究塾生は、いずれかの研究班の班員となる。

3 研究班に班長及び副班長1人を置き、班員の互選によって定める。

4 班長は、研究班を代表し、その事務を掌理する。

5 副班長は、班長を補佐し、班長に事故があるときは、その職務を代理する。

6 研究班の会議は、班長が招集し、班長が会議の座長となる。

7 班長は、特に必要があると認めるときは、会議に班員以外の職員の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

8 班長は、関係課等の長に、調査研究上必要な資料等の提供を求めることができる。

### (各課の協力)

第6条 課等の長は、研究塾における調査研究の過程において、必要な説明、資料等の提供を求められたときは、速やかにこれに応じるよう努めなければならない。

### (庶務)

第7条 研究塾の庶務は、政策開発部政策開発課において処理する。

### (委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、研究塾の運営に関し必要な事項は、代表が別に定める。

附 則

この要綱は、平成 8 年 8 月 30 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 11 年 4 月 13 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 18 年 4 月 25 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 20 年 7 月 22 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 25 年 6 月 11 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

## チャレンジ市役所「新発想」研究塾2016実施要領

### 1 研究事項

- (1) 東日本大震災・原子力災害からの復興を加速させるもの
- (2) 市民福祉の増進につながるもの
- (3) 自主的・自立的なまちづくりのためのもの
- (4) 先導性・モデル性のあるもの
- (5) その他、本市が取り組み、解決すべきもの

### 2 募集方法

自薦による。

### 3 組織

- (1) 年齢 概ね35歳以下の職員（平成28年4月1日現在）
- (2) 人数
  - ・グループの構成：1班5名（班長1、副班長1、班員3）
  - ・班数：2班
  - ・研究塾の代表・副代表各1名を選任（班長・副班長以外から選出）

### 4 運営方法

- (1) 研究課題の設定
  - ・グループごとに研究テーマを設定する。
- (2) 研究課題に係る調査研究
- (3) 課題を調査研究するための措置
  - ・調査研究のために必要な資料等を求められた関係課等は、資料及び情報提供に配慮する。
  - ・研究過程において、先進都市等の視察が必要な場合には、予算の範囲内で措置する。

### 5 研究成果

- (1) 調査研究のまとめ及び報告書の提出
- (2) 公開によるプレゼンテーションの実施（市長、関係部局長等が出席）
- (3) 事業化のための関係部局による検討（提言のあった施策を具現化するための検討を行い、次年度以降の予算に反映させる等の措置をとる。）

### 6 その他

郡山市職員フロンティア賞に内申する。

チャレンジ市役所「新発想」研究塾2016 研究塾生名簿

Aグループ

No.	部 名	所 属 課	職 名	氏 名	フリガナ	性別	備考
1	総務部	職員厚生課	主査	鈴木 俊幸	スズキ トシキ	男	班長
2	政策開発部	ソーシャルメディア推進課	主事	岡田 真由美	オカダ マユミ	女	
3	保健福祉部	健康長寿課	主事	佐藤 有莉	サトウ リ	女	
4	こども部	こども支援課	主事	横田 千明	ヨコタ チアカ	女	副班長
5	下水道部	下水道建設課	技師	樫村 圭亮	カシムラ ケイスケ	男	副代表

Bグループ

No.	部 名	所 属 課	職 名	氏 名	フリガナ	性別	備考
1	税務部	資産税課	主事	高橋 亜裕	タカハシ アユ	女	
2	産業観光部	産業政策課	主事	遠藤 美里	エントウ ミサト	女	
3	建設交通部	道路建設課	技査	野田 剛史	ノダ タカシ	男	班長
4	行政センター	湖南行政センター	主事	上遠野 幸平	カウノ コウヘイ	男	代表
5	水道局	経理課	主事	栗城 菜月	クリキ ナツキ	女	副班長



「チャレンジ市役所『新発想』研究塾」研究テーマ・実施状況

年度	グループ名	研究テーマ	実施状況
2013 (H25)	研究会 A	「公共施設」だってリノベーション！ Public Facility Renovation！ 公共施設の魅力アップ 利用者満足度の向上・地域振興の起爆剤に！	・こども図書館の設置 ・「寺子屋郡山」を中央図書館3階研修室で実施
	研究会 B	子供たちで賑わうまちへ ～共に奏で、新しい価値の創造を～	・大型遊具巡回事業の実施 ・移動サロンの実施 ・子育てに関する情報提供 ・市民協働政策提案制度開始
2014 (H26)	研究会 A	“彩” エネで新たな魅力の創出！ Made in KORIYAMA	・魅力あるまちづくりに向けた出前講座の実施
	研究会 B	やっぱり郡山だばい！ ～若い力。無限大の可能性～	・イクメンハンドブック発行 ・「工事現場探検隊」の実施
2015 (H27)	研究会 A	こおりやま こめら プロジェクト	・育パパサポート奨励金
	研究会 B	見て♪来て♪寄って♪ やってみて♪	・「こおりやま移住・定住ポータルサイト」開設

チャレンジ市役所「新発想」研究塾2016政策提言報告書

平成28年12月発行

編集・発行 郡山市政策開発部政策開発課

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号

TEL 024-924-2021

FAX 024-924-2822

e-mail [seisaku-kaihatsu@city.koriyama.fukushima.jp](mailto:seisaku-kaihatsu@city.koriyama.fukushima.jp)